

## 福井大学生生活協同組合 プラスチック問題対応方針

レジ袋の有料化法制に向けた動きや、マイクロプラスチック問題など環境問題への対応について、これまでの環境対応のとりくみから組合員をまきこんだとりくみへ進めるために、以下のように取り組みをすすめます。

1. 20年7月からレジ袋有料化の義務化への対応として、店舗での有料化を行います。
  - 有料化により、レジ袋の利用枚数を1/3程度に削減を目指します。
  - 1枚5円で販売して得られた収益金（経費除く）は、環境保全活動費として大学へ寄附します。
  - 販売するレジ袋はバイオマス原料由来のものに変更します。
  - 削減することによる経費節減分は、組合員への利用還元を活用します。
  - 総代会議や総代会での議論や組合員向けに、環境問題を考えるきっかけとして、自分たちの暮らしを見直す呼びかけや運動づくりをすすめます。
  
2. 内製弁当容器（コテパック）の回収率向上を目指します。
  - 窓口回収率60%から70%へ、全回収率75%から85%へ、回収率アップを目指します。
  - 個人だけでなく、研究室やサークル団体等への回収率向上の協力の呼び掛けを行います。
  
3. その他環境問題へのとりくみについて
  - 大学と環境 ISO 活動と協力して、広く学内に環境問題への関心を高めるとりくみをすすめます。
  - レジ袋有料以外にも、組合員向けの環境問題への関心を高める企画や呼びかけについて、SoSen 部と店舗が協力して積極的にとりくみます。

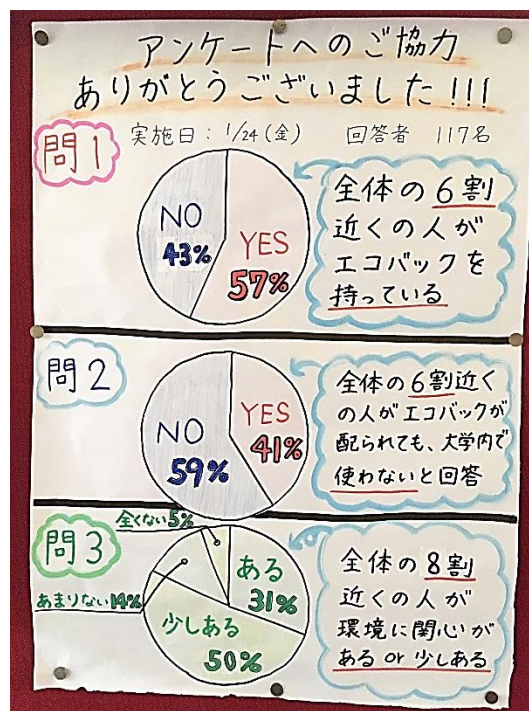
2019年度第8回理事会（2020年2月20日）議決

資料)

### (1) レジ袋の配布枚数

- ・18年度の配布枚数は約65,000枚。
- ・1日あたり260枚/満天&ショップ PLUM2,780人=9.4%)のレジ袋を1/3(1日あたり90枚、3%程度)に削減をめざします。

(2) SoSen 部実施のアンケート (1/24 餅配布時に実施、117 通回答)



Q 地球環境問題に関心ありますか? → 「ある」「少しある」81%

Q エコバッグを持っていますか? → 「持っている」57%

Q 有料化後、生協でエコバッグ配布されれば生協で使う? → 「使う」41%

以上